

参加した生徒のみなさんと先生方からたくさんの御意見・御感想をいただきました。紙面の都合で全てを掲載することはできませんが、その一部を紹介いたします。

〇〇〇 生徒 事後アンケート 〇〇〇

1 「ワークショップ」をとおして、いじめ問題を考えることができましたか。

- | | | |
|--------------------|-------|-------|
| 1 深く考えることができた | | 102 人 |
| 2 考えることができた | | 7 人 |
| 3 あまり考えることができなかった | | 0 人 |
| 4 ほとんど考えることができなかった | | 0 人 |

2 学校にもどってから、いじめ根絶のために自分ができることを何かしようと思いましたが。(複数回答可)

- | | | |
|--------------------------|-------|-----|
| 1 学校や学級でいじめ根絶の取組をしようと思った | | 58人 |
| 2 自分からできることからしようと思った | | 56人 |
| 3 あまりしようとは思わなかった | | 0 |
| 4 全くしようとは思わなかった | | 0 |

◇ 生徒の感想 (一部抜粋)

- ・ 私には考えられないたくさんの意見が出て新鮮でした。今、私のクラスなどでいじめはないと思います。これを継続していきたいし、もし、いじめが起こったら、勇気を出して止められるようにしたいです。
- ・ いじめについて知ることができてよかった。学校でこの事を生かし、ポスター製作や、呼びかけを行ってみたいです。
- ・ 場所を変えることによって、いろんな人たちと色々な考えを深めることができた。
- ・ 最後の絵本がとても怖かったです。いじめている側はいじめたことなんて忘れてしまうんですね。1回心に傷をつけられると、誰も信じられなくなってしまうのが本当に辛いことだと思います。そんな思いをしていい人なんて、この世にただ一人として存在しないと思いました。また、いろいろな考え方があり、みんなの考えも参考にできたのでよかったです。学校に持ち帰り、試行錯誤していきたいです！
- ・ 自分の意見のほかにも、たくさんの意見が聞けて良かったです。
- ・ いじめは、なくすこと、起こらないようにすることができると感じた。具体的にいじめのシミュレーションをして、いじめられる側の気持ちを知ることができると思う。もちろん、一人一人や学級での意識をもつことも大切だが、具体的な策を学校に帰ってから考えていきたい。
- ・ ワークショップを通して、他の学校の生徒の人と交流し、一つのテーマにそって、いろいろな意見を出すことができました。これからは、学校に持ち帰り、生徒会等の活動を通して、ポスター作成、呼びかけをして、いじめの危険、いじめはダメということをしかりと呼びかけたいです。
- ・ ワークショップをやってみて、いじめには様々な原因があることが改めて分かった。この今日の経験を生かして、これからは、いじめをなくすために雰囲気づくりなどをやっていきたい。
- ・ いじめをすると人の人生まで、くるわせてしまうんだと思った。いじめられてる人がいたら声をかけたい。
- ・ 今回のワークショップをして、他校の生徒と交流をし、意見を聞くことができ、勉強になった。夏休み明けの学校の集会等を使って、今日学んだことを発表し、自分の学校からいじめを無くしていきたい。
- ・ いじめられている側の人の気持ちしか考えたことがなかったから、いじめられている人の背景などを考えることができて良かった。
- ・ いじめによる影響、感情、立場などの要点をしかりまとめることができました。学校に戻ったら、今回大量収穫した要点を公の場で発表し、学校全体の意識を高めていきたいです。
- ・ 今まで全然「いじめ」について考えることはありませんでしたが、ワークショップで一つ一つにしかり自分の考えを言えたのでとても良かったです。また、いじめをやってしまう人の立場に立って考えていき、解決方法を見つけてこれから「いじめ根絶に向けて頑張っていきます」
- ・ 他中でのいじめに対しての活動などを知ることができてよかった。そのことや、話合いで学んだことを使って、学校みんなに話したいです。
- ・ やっぱいいじめはダメだと思いました。自分ももっともっと成長して、いじめをなくしていきたいです。

〇●〇 教員 事後アンケート 〇●〇

◎ 「ワークショップ」について

- 1 大変参考になった 21
- 2 参考になった 30
- 3 あまり参考にならなかった 3
- 4 まったく参考にならなかった 0

- ・ 学校全体での共通理解や統一した行動、学級、学年の雰囲気づくり、意識づくり、未然の対応につきると思いました。
- ・ いろいろな学校の実態や取り組みを聞くことができて良かった。また、いじめに対する対応として様々な方策や、考え方があったと分かった。今後活用できることは活用し、生徒達が笑顔で学校に通えるよう力を尽くしていきたいと思った。またワールドカフェ方式をぜひ今後活用していきたいと思う。
- ・ 自分なりに考えていたいじめ対策はあったのだが、他の多くの先生方の話を聞き、いろいろな気付きがあった。特にいじめ撲滅宣言とそこまでいたる経過などについての話はとても参考になり、ぜひやってみてみたいと感じた。
- ・ ワールドカフェ方式については、子どもにやらせていたことがあったので、自分がやってみて、とても有効に感じた。先生方の具体的な方法を共有することができ、参考になった。
- ・ 午前中も、もう少し情報交換の場があっても、いいと感じました。
- ・ 事後活動に関する内容と期待していました。他の学校の先生の取組を聞くことも大切ですが、せっかくですので、今日の生徒たちのワークショップを生かす、学校へつなげるということについて研修したかったです。
- ・ テーマをもとにKJ法で、どのような問題や解決方法を探り、自分たちの考えをまとめていくやり方は学活や道徳をはじめ、いろいろな教科で取り組んでいます。今日の子どもの様子を見て、「いじめ」をテーマに自分の学校でも行ってみるべきという感じをもちました。(本校では月に1~2回、1~3年生を縦割りにして10人程のグループをつくり、話し合い活動を行っています。)
- ・ 各校、多くの問題を抱えており、早期対応ができなければ、大きな事件に発展するため、常に情報交換、情報共有を行う必要があると再確認できました。
- ・ 様々な視点で、いじめの対策について考えることができましたが、勤務校でも実践していきたいと思います。
- ・ 他校の取組が、情報として入ってきたので、これから生徒会担当として、やるべきことが明確になったような気がします。
- ・ 時間が短かったので、意見交換程度にとどまりましたが、学校ごとに取り組んでいることや具体策を考えることができ、勉強になりました。「いじめ」という大きなくくりでは、たくさんの意見を聞くことができましたが、最近は携帯、LINE等が大きな問題となっているので、取り組み等聞いてみたかったです。
- ・ 各学校が抱えるいじめに関する問題を知り、具体的な対応策について学ぶことができた。その過程で自校に合った解決策を模索していきたい。
- ・ 子どもたちの話し合い活動もそうだったが、集団でのやりとりだったので、とても活発に話し合えた。
- ・ 他の学校の先生方の話を聞く機会を得ることができ、とても勉強になりました。
- ・ 多くの取組を聞くことができました。実践したいと思います。
- ・ 始める前は70分長いなあと思っていたが、いざやってみると時間が足りなかった。他校での取組の情報交換ができ、重要な取組策の確認もでき、有意義な時間となった。
- ・ 平日頃の教員の意識と取り組みがいじめを防止するのではないかと思います。教師としての資質向上のため、今後も研修に励みたいと思います。
- ・ いじめとは、絶対に許されない行為だということを改めて、深く考える良い機会となった。
- ・ 設定時間の短さに反して、興味深くワークショップができました。
- ・ 短い時間で忙しい感じであったが、他校の取組や先生方の考えを聞くことができて勉強になった。ただ、生徒と同じフロアで成果物を生徒にも見られるのは良くないと思う。(保護者のことも書いてあるので)
- ・ 様々な意見や考えを知ることができました。参考にして取り組みたいと思われる対策も多く充実したものになりました。
- ・ 真剣にいじめを防止するための方策を先生同士で考えることができ、とても有意義な研修会となりました。具体策は何よりも重要ないじめの解決策につながると思いました。何よりも生徒の心の動きを捉えることが貴重な体験でした。
- ・ いじめ防止について、いろいろな手立てを考えることができると改めて感じました。基本は学級づくりだと思うので、今後の学級経営に力を入れていきたいと思います。また携帯・LINEによる問題には頭をいためていたので、参考になる話し合いができてよかったです。
- ・ スマホの普及などで問題が複雑になっている一方、生徒指導の基本的な考え方は今の状況においても重要であることを再確認できた。いじめのいろいろな対策や構図など、再認識することができたが、それぞれの項目をグループ分けし、教師側でできること、生徒がすることに分けるなど、新鮮だった。最終的にはよりよい集団づくり(自浄作用がある)を目標とすることやそこに至るまでの段階など、改めて考えることができてよかった。

- ・ 県内の各市町村を代表する生徒たちが一同に集まって「いじめ」をテーマに話し合う機会はこのフォーラムくらいしかないので、とても良い機会だったと思いました。
- ・ いくつかの学校の教員でいくつかの考えを出し合い深めることができました。1つの具体策として「いじめ防止のための教員研修」が挙がりました。
- ・ 他校の取組や事例は参考になります。指導主事訪問の時も、ワークショップ形式の指導がありましたが、このところこの形式が多いので、個人的には事例をもとにした講義でもよかったかと思います。
- ・ いずれの点でも共有できたことがあった。現場での課題解決のために、これからも努めていきたいと思いました。
- ・ 各校の現状や課題、有効な取組について話を聞くことができ、有意義な時間だった。一人一人の持ち時間が短かったので、話きれないこともあったのでテーマを絞って（予め）話し合うことも良いかと思いました。（いじめの内容が広いので）
- ・ 参加する前は「いじめ」について生徒たちの考えがどのくらい変わるだろうか、やや不安なところもあったが、一日じっくり話し合うことで「本気で取り組めば何か変わるかも！」「いじめは絶対許されない」ということを実感することが出来たと思います。
- ・ 似た実態を抱える先生方と議論することで、自分の学校での取組の意義を再確認したり、新たな取組のアイデアを得ることができました。
- ・ 日々の指導の大切さ及びスマートフォンの使い方の指導が必要であると感じた。（特にLINE、ブログ、Facebook等）短い時間ですが、帰り際に教師側のワークショップが生徒の目に触れるのは・・・と感じてしまうのですが・・・生徒のポスターと扱いは異なるように思います。
- ・ 他校の先生方と情報交換できたのは、とても有意義でありました。
- ・ 他校の生徒と情報交換できただけでも意義があった。
- ・ 対象の教員の範囲を特定し決めた方が良いのかも？
- ・ とても難しい問題だと思いました。学校の状況に合わせて何をすべきかを考えていかなければならないと感じました。
- ・ 基本は学級経営や道徳教育などの地道な活動が大切だと思いました。行事や単発な取組の限界をどの先生も感じていることが分かりよかったです。
- ・ ワorkshop形式はやめてほしいと思ったが、とてもためになりました。情報交換のみでよいと思ったが、各校の先生方の意見が参考になった。特に各校の取組や課題が話題となり、教育活動の参考になった。
- ・ ワールドカフェの感覚が少しずつ分かってきた。マトリックスを使ってカテゴライズする方法は、自分でも授業で使っているが、事前の説明が難しい。いかに生徒の成長を促していくかが、各校とも課題としていることが分かった。
- ・ 子どもたちと同じ空間でざわざわしており、もう少し落ち着いた環境が良かった。ワークショップはとても参考になった。
- ・ 教師と生徒、教師同士、生徒同士のコミュニケーション能力の向上の大切さが改めて認識できました。
- ・ 特別な「いじめ防止」対策が必要であるが、それよりもふだんの日常の学校生活そのものが、いじめを起ささない学校づくりをしていくことが大切だという意見を言う先生がいて、その通りだと思いました。
- ・ 他の学校の先生方の考えが聞けてよかった。
- ・ 時間が短かった。方法は良いと思うが、空いている時間があつたので、もう少し有効に時間配分できると良い。
- ・ 学校の状況によって課題が異なることや、いじめを未然に防ぐことの大切さに関して、情報を共有できたことは良かった。いじめに関して考える良いきっかけになった。
- ・ 我々のグループは、初任層、中間層教員と先生方の年代層が様々だったため、「今、必要なもの（こと）」という視点で意見交換できたことは有意義でした。

◎「生徒のワークショップ」について

- ・ 生徒たちが自分たちの考えを出し合っ、その原因や防止策について真剣に話し合っている姿に感心させられました。生徒が自分たちの目線ととらえたいじめは我々教師が考えている以上に現実的でした。今回の活動は、教室でも行うことができるので、全校で取り組んでいくことが可能だと思います。
- ・ 立派な発表をする生徒の姿を見て、生徒主体でのいじめ撲滅の取組を考えてみたいと思いました。
- ・ ファシリテーターの進行や意見の取り上げ方、もっていく方向性などが上手だったので生徒たちも活発に意見を述べたり、考えをまとめたりすることができていました。他の学校の生徒と交流することで、多角的にそして真剣に話し合うことができていたと思います。また様々な視点から「いじめ」について考えたことをまとめ、発表して良かったと思います。
- ・ （大学生の）ファシリテーターが司会をすることによって、生徒たちはとても心を開いて活発に意見交換をして（できた）いたと思います。席替えをして、さらに考えを深めるという工夫も大変良いと思いました。新しい友人もできますし。
- ・ ワorkshopの形式や内容よりも、他の学校の生徒と知り合いになり、お互いの考えを出し合い、いじめについて真剣に考える機会をもてたことが最も意義のあることだと感じた。大学生のみなさんも生徒の意見を引き出そうと努力していたし、生徒の話合いをファシリテートするときに留意することなども学習できたのではないかと思います。双方にとって有意義だった。
- ・ ワールドカフェ方式はよかったのではないかと思います。ただ、もう少し時間があるとよかったと思いました。午前の部。はじめのグループの時間を長めにとるとか。あとが流れをつかまないうちに動かしていたような気がしました。また移動した後どういった話し方で話題提供すべきなのかななどを指示してから動かしてもらおうと、さらによい活動になったのではないかと思います。

ました。午後はそんなにたくさん見れなかったですが、慣れてきたのか活発な議論ができていたように見えました。

- ファシリテーターの大学生の皆さんがうまく意見をつないでくれてました。本校の生徒はうまく自分の意見を言えるか心配していましたが、単語でも言葉にしたものを、みんなで考えている様子を見て安心しました。KJ法を使って生徒会での話し合いをしたことがありましたが、今回の方法もぜひ学校でやってみたいと思います。男子と女子でもこんなに考えが違うことを再確認できました。
- 時間が適度に切り替わり、いろいろな生徒と話ができるので、楽しそうに見えた。
- いじめについて真剣に考える姿が多く見られた。その中で自分の考えをしっかりと述べられる生徒もいれば、そうでない生徒もいた。性格や人間性によるものも一因だと思うが、他の生徒との交流（アイスブレイク）の時間をもっと取った方がより和やかな雰囲気でも活動できたように思った。（折角グループで仲良くなってすぐグループ換えのため、和やかになったものがリセットされているように感じた）ファシリテーターの動きは良かったと思う。
- ワークショップの様子を見に行っても良いが近付きすぎないようにとあるのであれば、はじめから教員は別の研修があっても良いのではないだろうか。午前中は手持ち無沙汰であった。
- 真剣に話し合いをしている生徒たちの姿を見て、とても感動しました。多くの取り組みと生徒自身が考えることで、いじめが少しでもなくなることを願います。
- ファシリテーターが入ることでよい話し合いができていたと思います。
- 知らないもの同士ということで活発な意見交換ができていたようである。同じことを学校で・・・となるとここまで積極的な話し合い活動ができないのが残念であるとともに話し合いができるような環境づくりが大切であると思う。
- どの学校の代表生徒も活発に意見を発表していたようである。お互いの話を聞き、学校での活動にどのように生かすのか、興味深く感じました。その後の学校での取組の事例発表なども、各学校参考になるのではないかと感じました。
- 最初はぎこちなかった話し合いもだんだんスムーズに進むようになり、いじめに対する考えやなぜいじめは起こるのかの理由等、中身の深い話をしていたのがすごいと思った。解決策まで話が進んでいるグループもあり、考える機会をたくさん与えてもらったワークショップだったと思う。
- 各グループがそれぞれ独創的なアイデアを出し合うというのではなく、席替えを何度か行っても行く先で同じような意見とめぐりあうワークショップだったように思います。「そうしたやり方がよくない」というのがいいのではなくて、参加生徒はみんながいじめ根絶をのぞんでいることが何度も確認できたと思います。
- 1グループの人数が多いので、聞いて終わっている生徒がいる。多くて4名では？もう少し会場の広さがあると移動もスムーズになるし、教員の存在も意識されない。ファシリテーターに差がある（時間を気にしてか、少し誘導的な時がある）いじめというテーマでいろいろな人の意見が聞けるので良い機会になっていると思う。
- 他校の中学生同士でお互いの意見を共有しながら、いじめ問題について話し合う姿が真剣であり、素晴らしいと感じました。ブレンストリーミング方式で系列ごとに内容を掘り下げて、意見を深めることは中学生の意見を広げていく良いアイデアだったと感じます。
- 学校を代表する生徒の集まりなので、スムーズに活発な意見が出てました。
- 一人一人がいじめについて突っ込んで考えていたので、生徒にとってもとても勉強になったと思います。ファシリテーターの役割、進め方も自分にとって勉強になりました。いかに参加者の発言をひきだすか難しいなと思いました。
- 様々なグループと考えのヒントを得たり、シェアリングをしたりしたことがよかったと思いました。またその一方でもう少しアイスブレイクの時間の必要性があったと感じました。
- 「いじめ」の問題について、熱く深く話し合っていて、とても良いフォーラムであったと思います。（いじめをなくするのはもちろんだが、いじめが解決した後にどのような人間関係にするか）などといった様々な考え方が出ていました。
- 学生が助言役、進行役なので中学生も自然と意見が言えていたし、発言や話し合いにも結びついていたと思う。各校代表の生徒が意見を深めることが出来ていたのが何よりである。さらには自校に戻ってからしっかり発信していくことができたなら、すばらしいことだと思うし、いじめ達成にもつながると思うので今回のフォーラムは意義のあるものとなったと思う。
- できれば全ての班に発表の場面を与えることで、今日の取組への価値が更に高まっただろうと感じた。各班で話し合い活動が成立し、意見交換が活発になされていた。
- 生徒は他の学校の話をする中で、自分たちの学校や周りの環境について考えるきっかけになったと思います。今回のワークショップで学んだことや感じたことを自分たちの学校に戻ってから、ぜひ広めてほしいと思います。
- ウェビング等の方法を用いて、生徒が発想を広げやすい工夫がされていたと思います。大学生・院生の方がファシリテーターに入ってくださったおかげで、安心感や話しやすい雰囲気が生まれていたと思います。

〔後記〕

たくさんの方の貴重な御意見を頂きありがとうございました。

「いじめ根絶のために何かやっていきたい。」と多くの生徒が書いていること、そして多くの先生方が自校を今以上に良くしていきたいと考え、未然防止の重要性を確認して下さったことに感動しています。

2学期以降、宮城県内全ての中学校でいじめ根絶に向けた取組が行われ、誰もが喜んで登校し、楽しく真剣に学び、安心して生活できる「魅力ある学校づくり」が全ての学校で進むことを期待しています。

また、フォーラムの運営等に関する貴重な御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。